

保育者に求められるピアノ演奏と音楽表現について

柴田学園大学 短期大学部 保育科

工藤 里砂子

TEL 0172-32-6151

FAX 0172-32-6153

e-mail r-kudo@shibata.ac.jp

キーワード

ピアノ演奏法・指導法 子どもと音楽 表現 ドイツ歌曲伴奏法
アンサンブル演奏

心に響く音楽を聴いた時、言葉にならないような感動を覚えた経験を誰しもが持っていると思います。音楽には私たちの情緒や感情、感性に深く結びつき、心を豊かにしてくれる不思議な力があります。また乳幼児期に色々な音楽体験をすることで、想像力や表現力、そして集中力や創造力、共感力なども養われます。

これは非認知能力の育成にも繋がります。そのため幼児教育や保育の現場においても、音楽活動は必要であり、その際とりわけ保育者には「ピアノ演奏」スキルが求められます。しかし保育士養成校で学ぶ学生においては、ピアノ習得未経験者も多い、という現実もあります。

卒業までの短期間でいかに効率よく読譜力を身に付け、保育者として必要なピアノ演奏（伴奏）スキルを高めるのか。そのために基礎練習曲や弾き歌い曲を活用し、一人一人の学びに寄り添い、個性に合わせたレッスンを行いながら、最適な練習方法や運指方法などを研究しています。



「音遊び」活動風景

また学生自身、想像力豊かに幅広い音楽表現を身に付けるための方法も研究しています。子どもと楽しさを共有しあえる「音遊び」の活動を中心に、身近な素材を用い、音による表現の可能性を学生自らが模索し、探求する方法を考え実践しています。

そして私自身がピアニストとして演奏会の舞台に立つという経験は、学生のピアノ練習への向き合い方などにも反映されるものと考え、継続的に演奏活動を行なっています。専門はドイツ歌曲伴奏ですが、管楽器や弦楽器奏者などとのアンサンブル演奏も行っています。

○主な演奏経歴：

- ・青森県立美術館コンサート 2008-2009 12人のピアニストによるコンサート+α
～もう一つのピアニスト～（2008年 青森市）
- ・NHK交響楽団メンバーによる弦楽の響き ドリームコンサート（2009年、2012年 弘前市）
- ・NHK交響楽団メンバーによる室内楽の響き ドリームコンサート（2013年 弘前市）
- ・歌曲とピアノのタバ ～R.シューマンに捧ぐ～（2019年 ドイツ・ツヴィッカウ）